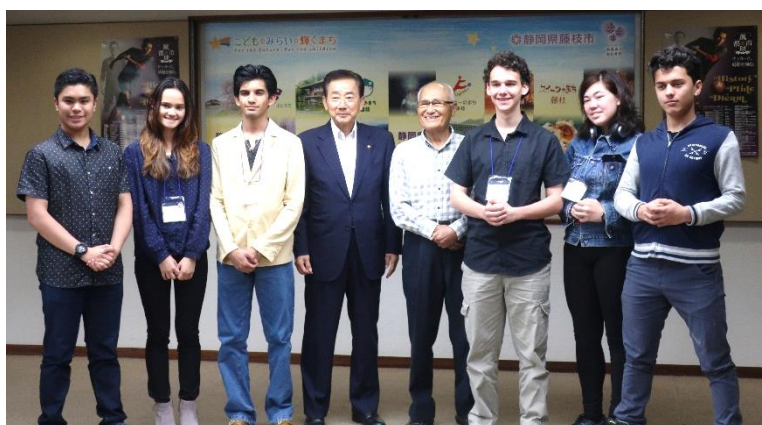


交換学生交流事業



## オーストラリア・ペンリス市 交換留学生6名が来藤！

9月15日（土）～10月5日（金）に姉妹都市であるオーストラリア・ペンリス市からの交換留学生6名が藤枝での日程を終え、無事に帰国されました。3週間という短い期間でしたが、友好協会のプログラムやホームステイの体験を通して日本文化や藤枝について学びました。初日は皆さん少し緊張されていた様子でしたが、帰る頃には日本語であいさつや返事ができるようになり、すっかり日本の学生・ファミリーとも仲良くなっていました。このように、今後もペンリス市と藤枝市の友好の輪が広がってほしいと思います。



座禅体験 満蔵寺



広幡中学校



大洲小学校



尺八体験



明治なるほどファクトリー東海



岡部宿大旅籠柏屋



着付け体験



送別会

[藤枝市国際友好協会事務局] AM9:00 - PM4:00

☎ 426-0034 藤枝市駅前2-1-5 文化センター2F

☎ 054-270-3232 ☎ 054-646-3330

✉ fifs1984@cup.ocn.ne.jp

🌐 <https://fifsinfo.jimdo.com/>



派遣学生による  
報告を紹介します

# 藤枝市交換留学生 in ペンリス！



2018/9/15 - 10/5

<言葉の壁を恐れない>

石田 梢

今までに、海外経験がなかった私にとって、英語しか通じない場所で生活することはとても刺激的でした。最初は自分の伝えたいことがうまく伝わらず、消極的になっていました。しかし、言語の壁を恐れずにたくさん英語を使う事こそ大切だと学び、多くの素敵な人たちと出会うことができました。この3週間の素晴らしい経験を大切に、これからもっと英語の勉強に励みます。そして、今よりも成長したら絶対に再びオーストラリアに行きたいです。

<大切な事>

高柳 ころろ

私は、積極性の大切さを学びました。特に家では家族と一日の出来事などを話したり、料理の手伝いをしたりして、食べ物や道具の英単語を知ることができました。ホストファミリーと一緒に過ごす時間の中で英語をたくさん使いました。積極的に家族のいる空間に行かなければ話をしたり、料理をしたりすることはできなかったと思います。自分がその気になれば英語力も伸びるということを実感しました。私の目標は英語を話すということでした。胸を張って目標を達成できたと言うことができます。

<この3週間>

平松 響

オーストラリアでの3週間は多くのものを僕に与えたと考えています。まずは仲間です。1か月前には知らなかった11人が大切な仲間になりました。もう一つは英語力です。これは明るいホストファミリーがいたからこそ得ることができたものだと思います。この3週間において僕を支えてくれた多くの人たちに感謝の気持ちが溢れます。今度は僕が人を支える番です。僕のホストブラザーに日本で多くのことを得てもらえるよう頑張ります。

<オーストラリアに住むには>

渡辺 錦太郎

僕がこのペンリス市での体験を通じて思ったことは、いつかオーストラリアに住んでみたいという事でした。なぜなら、ペンリスには豊かな自然・暮らしやすい気候・綺麗な街並みがあり魅力を感じたからです。さらに、ペンリスには優しい人が多く、そこにも惹かれました。食事や生活で慣れないこともあったけど、本当にオーストラリアという国・ペンリスの町に住みたいと思いました。

<すべての出会いに感謝>

澤田 美羽

現地の学校は規則や時間に自由があり、日本で毎日部活と勉強に追われていた私の生活との差に驚きました。週末は現地の子たちが様々なところへ遊びに連れて行ってきて、本当に素敵な時間を過ごすことができました。お別れするとき「美羽の部屋を空けておくからいつでも帰ってきてね」と言われて嬉しかったです。それと同時に、もうお別れをしなければならぬと実感し涙が止まりませんでした。お世話になった人とのお別れは、お世話になった分だけ淋しかったです。この3週間生きてきた中で一番短かったけど、一番楽しかったです。

<コミュニケーション英語>

山本 華

初めての留学での3週間は、長いと感じていたものの、実際にはあっという間に終わってしまいました。私は、この留学でコミュニケーションの大切さを学びました。自分の感情や思いをホストファミリーに伝えなければ、自分もホストファミリーも困ってしまう。私が初めてペンリスに行った時、自分の感情を伝えたことで家族との会話が弾みました。この3週間が楽しかったのは、家族と私がうまくコミュニケーションを取ることができていたからだと思います。

